

質問4. 所属する学会について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	所属していない
※	ゲノム微生物学会、酵母遺伝学フォーラム
※	日本霊長類学会、日本人類学会
※	日本薬学会
※	日本進化学会、日本バイオインフォマティクス学会
※	日本化学会
※	日本家禽学会
※	China
※	糖尿病学会
※	日本がん転移学会
※	日本RNA学会
※	日本時間生物学会
※	ISSCR、ASBMR、日本整形外科学会、日本手外科学会
※	無所属
※	日本進化学会、日本霊長類学会
※	霊長類学会
※	日本蛋白質科学会
※	日本生物工学会
※	Chemical Society of Japan
※	蛋白質科学会
※	日本畜産学会
※	核磁気共鳴学会、日本RNA学会
※	脂質生化学会
※	日本育種学会
※	Society for Neuroscience
※	日本ゲノム微生物学会

質問5-2. シンポジウムについて <複数回答可> (テーマが偏っている)

回答者 番号	テーマが偏っている記述
	記述なし

質問5-8. シンポジウムについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	匿名で質問がしたかったです。
※	私は今、学位取得後のポスドクの行き先を考える時期で、海外も考えていたため、海外からの講演者がより多くいらっしやっの方が良かったのですが、移動ができない中で時差を考えると、難しかったのだらうと思います。
※	英語発表のため、演者によっては理解が難しい場合がある。
※	視聴者が、発表者に拍手を行える様なシステムがほしかったQ&Aやチャットの更新にタイムラグがあったように思う
※	Some people faced trouble while connecting during the poster presentation. Also, the webpage details were only available in Japanese which makes it difficult to join some workshops.
※	オンサイトと比べて、オンラインでの開催に非常に大きなメリットを感じた。オンサイトとは異なり、自分の参加しやすい環境で集中して参加できたことが非常に良かった。また質疑はオンラインの方がオンサイトでの実施よりもハードルが下がり、活発に行われていたように感じた。

質問6. ワークショップについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	何人がそのzoomに参加しているのか個人的には知りたかったです。
※	英語発表のため、演者によっては理解が難しい場合がある。
※	糖鎖のワークショップやシンポジウムがあると嬉しい。
※	テキストベースの質問形式だと、十分に意図が伝わらないことがあったので、口頭質問できるようになればさらに活発な議論ができたと思います。
※	オンサイトと比べて、オンラインでの開催に非常に大きなメリットを感じた。オンサイトとは異なり、自分の参加しやすい環境で集中して参加できたことが非常に良かった。また質疑はオンラインの方がオンサイトでの実施よりもハードルが下がり、活発に行われていたように感じた。

質問7. 一般演題(ポスター発表)全般について <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	説明の途中から入室することも多かったので、質疑応答が難しいと感じた。
※	ポスターのサイトが見にくい。★の意味がわからなかった。ポスター(PDF)上に番号のない人が多かったので実際にオンライン視聴する際に番号を控えていないとtraceできず二度手間になった。
※	各ZOOM部屋に入っている人数が分かれば、発表を聞きに行く際の参考になると感じた。Spatial Chat等の擬似空間でポスター発表できれば臨場感があると感じた。
※	ポスターが自由に見やすければよかった
※	ポスタータイトル一覧がPDF等でダウンロード可能であるとよかった。(例年のプログラムのように)もしくは、タイムテーブルで表示されるポスタータイトル一覧からポスターセッションに飛べると良かったかもしれない。
※	Zoomを用いたポスター発表そのものにもやりにくさを感じることはなかった。しかし、オンライン要旨システムでの演題検索は自分の研究に関連したものになりがちであるため聴講するポスターが偏ったものになってしまった。なじみのある演題を聴きがちになったり、なじみない演題のzoomには入りにくさがあった。自分を含め、Zoomに誰も入ってこなかったという話をよく耳にしたが、これもポスターとの出会いにくさに起因すると思った。
※	私自身ポスター発表をさせていただきましたが、参加者以外が見えず、新規参加者が急に出現するので戸惑いました。スライドを使って発表したため、途中参加者に対し不親切な説明にだったと感じています。実際、退出される方もいて、結果として1対1では深く議論できましたが、1時間で2~3人しかセッションできませんでした。一方で、会議IDは時間外も使用できたため、時間外のセッション依頼もありました。お互いに時間が合えばセッションできる利点を有効利用するのも手だと感じました。ポスターセッション時間を規定した上で、発表者による、時間外対応可能な意思表示システムがあると、より深い
※	オンラインでのポスター発表は、ポスターが見やすくなり良かったのですが、ポスター発表の時間が短く感じました。(1時間に3演題を見るのがやっとでした)
※	アクセスできない時間があり、興味のあるポスターの方の話を十分に聞けなかった。
※	ポスターの検索画面が見にくいので、一画面に表示できる数を増やしてほしい。
※	聴衆の数に偏りがあり、ひとりも来なかった演者がいた。
※	オンラインの特徴が良くいかされていたと思います。欲を言えば、抄録のページからポスターにも直接リンクしてあるとよかったです。また、普段のポスターでは出来ないこととして、誰がポスターのリンクをクリックしたかや何人ぐらいがクリックしたかなどが発表者側が確認できると興味を持っている人の傾向が分かってよいかと思いました。
※	ポスターの投稿先が細分化されすぎており、気になるポスターを探しづらい。投稿されたポスターを数秒毎にランダムに表示するような機能があれば、ポスターのザッピングができて良いと思う。
※	ポスターでRemoを使う方が良かったかもしれない。
※	・ポスター発表者が設定するzoomが複数人パスワードを設定しており入室できないことがあった。その辺りの設定方法などマニュアルなどを通して徹底して欲しかった。・ポスター発表の奇数番号偶数番号の発表時間とfacebookでのお知らせが逆転していた時があり、混乱した。
※	ポスター発表の時間に発表者が待っていても誰も来ないので、発表時間をわざわざ設けるよりは、オンライン上で質問する機能をもっと充実させた方がいいのではないかと感じました。また、スライドなりポスターPDFを使ってZoomで話すなら、通常の発表とあまり変わらないなと思いました。
※	・身分を明かさない人が多かった・同じ分野の人が、同じ日の時間帯にかたまりすぎのように感じた
※	ポスターの用意に割いた時間だけのメリットが感じられなかった。オンラインで行うのであれば、ポスターという形式ではなく、短時間でのプレゼン大会のようなものが良いと感じた。
※	一枚絵で概要を観られるとわかりやすくよい(画面スクロールは演者しかコントロールできないので)
※	画像共有中はチャットが見れなかったため、音声が出せない方に来ていただいた場合の意思疎通が難しかった。
※	カメラ非表示にする質問者が見られ、質問者の表情が少し読み取りにくくなっていました。可能な限りカメラ表示をオンにするようにより積極的に働きかけていただけると幸いです。
※	オンラインでのポスターセッションの場合、ポスターをざっと見て回ることができない。そのため、その場で気になったポスターの話の聞きに行く、というようなことが難しい。縮小ポスターだけでなくグラフィカルアブストラクトのようなものを一覧できるとよいのではないかと。
※	Zoomの外から各部屋の参加人数がわからないのが不便だった。誰が聞きに来たか、自動で記録してほしい。
※	オンラインになったことで参加者が少なくなったように感じた。議論する人数が減ったので、セッションの時間を長くして参加者が増えるようにした方がよいのではないのでしょうか。
※	対面であればポスターセッションの時間の終了が周りの動きをみてわかるが、オンラインだとアナウンスがないため気が付くと時間がすぎて次のワークショップがすでに始まっているということがあった。なので、技術的に難しいかもしれないが、またオンラインで行うときは時間になれば字幕で終了を知ることができると助かる。
※	ポスター発表のために2つのzoom URLを提出しましたが、特に記載が無かったため先に提出したものが本番用だろうと思い、当日は予備のURLで30分ほど待機してしまいました(参加者の方からDMが来て、別のURLだと気づきました)。そのため実際に発表できたのは20分弱でとても残念な思いをしました。どちらが予備かわかるようなシステムを作ってほしいと思
※	Not many joined as my poster description was in English. I attended only one visitor successful while 4 failed to connect.
※	見たいポスターをクリックするといちいち新しいタブが立ち上がり、見終わったらタブを消すという作業が苦痛だったため、たくさんポスターを見ようと思えなかった。今後もオンライン開催を予定するなら、改善して頂けると助かります。
※	未発表データを含む、特にLBAはオンサイトで実施してほしい。
※	これまでの現地開催では気にならなかったが、今回のポスター発表の場では、発表者ではなく他の視聴者との会話を楽しんでいる参加者がいると発表の妨げになってしまい良くないと感じた。挨拶や少しの雑談かもしれないが、視聴者側も発表者への配慮が必要だと思う。
※	発表中にZOOMIに入ってくる人を毎回Admitしなければならず、何分も入室を待たせてしまったり、自身の発表に集中できなかった。40分でZOOMが閉じてしまうため、発表途中に来客者を強制退場をさせてしまい、円滑な議論ができなかった。
※	Zoomに入って議論する人が少ない(あるいは偏っている)可能性があり、時間を持って余し気味の発表者がいたように思える。改善の方法は思いつかないが、改善の余地はあるように思えた。
※	ポスターをもっと一覧で見やすくなると良いと思った。

質問7. 一般演題(ポスター発表)全般について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	ポスターセッションの形式に大きな課題があるように感じた。オンサイトに比べポスター間の移動に制限が加わるため、同じ発表時間のポスターを聞くことはほぼ不可能であった。結果として専門の近い者同士での議論の機会が激減し、不満が残るものとなった。オンラインの自由度を生かし、ポスター番号の偶数奇数で前後半を分けるのではなく、そもそもの発表日を分けるなどの工夫が必要だったと思う。来年度のポスターセッションが同様の形式であるならば、情報漏洩のリスクや発表準備のコストに見合うメリットが感じられないため、おそらく演題投稿をしない。
※	オンラインでのポスター発表に限界を感じた。質問のタイミングが難しく、また、じっくり見たい箇所があるのに、画面を自分で操作できないのが残念であった。また、どの発表の傍聴者が少ないかが表示されていると、空いている発表に移動しや

質問8. 年会会期中の各日のタイムテーブルについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	セッション数が多いのは良いと思うが、空き時間が食事及び買い出しをするのには短く、休憩としては長く感じた。短い休憩を増やしてセッション間は短い休憩とし、昼と夜にはもう少し長い食事休憩が欲しかった。
※	オンラインでやるのであれば、実験などをやることが多い時間を避けると、両立できていいなと思いました。
※	自身の発表時間と被ったポスターセッションを聞けず残念だった。発表時間は二回設けてほしい。もしくはオンデマンドにしてほしい。
※	個人的に1日目の午前中に見たいセッションが3つ被ってしまい、スケジュール調整が大変だった。ただ、オンデマンド配信のおかげでだいぶ助けられました。

質問9. 発表言語について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	全て事後視聴可能にして欲しかった
※	Japanese Englishは聞き取りにくく、英語であることが質疑応答の妨げになっている場面も見かけたので、無理に英語を使用することは国内学会を掲げる以上は不適切だと思った。分子生物学会のような多様な分野が一堂に会する学会で英語だけが使用言語になることは、分野を越えた議論を遠ざけることになり学会の趣旨に反するとすら思う。
※	質疑に関しては適宜日本語使用を許可したり、オーガナイザーに訳や補足を入れるなどの配慮がきちんとあり、私のように英語を話し慣れていない人に対しても親切だと感じました。お心遣い、ありがとうございました。
※	英語力を上げるためなのか、全編英語での発表と質疑であるが、学会員全員が本当に英語で理解できているのか、非常に疑問に感じた。より活発な議論や学会及びgene to cellの発展を考えるのならば、もっと日本人向けで日本語で議論を行うべきではないか。英語による発表を行っても、本学会は国際学会として各大学や企業には認められておらず、また、招待会員以外の海外研究者も見当たらないため、日本分子生物学会にグローバルな知名度がないという事しかわからなかった。英語での発表と質疑に関しての意義を感じる事ができなかった。
※	国内学会を英語で行うことにメリットを感じなかった。どうしても英語での発表を推進したいのであれば、海外からのスピーカーを増やす必要があると感じた。
※	英語での発表に不慣れなため生じるデメリットもあるが、日頃からそのつもりで準備することで長期的には英語力の向上につながるメリットの方が大きいと思う。また学部学生や院生に対する教育効果も大きいのではないと思う。
※	オンデマンド配信を許可してくれた演者には、リアルタイムで英語で発表するのは別に、日本語でも録画/録音して配信されると助かる。

質問10. フォーラムについて（その他）

回答者 番号	その他記述
※	2F-06「EMBOのハンズオントレーニングをうけてみよう」のような、論文執筆・投稿に関するフォーラムを今後も続けてほしいです。あるいは増やして欲しいです。

質問11. 年会の特別企画について、良かったと思うものにチェックしてください <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	spatial chatは使いにくかった
※	特に、海外へGOの企画は、普段聞けないような貴重な話を聞くことができたのでとても良かったと思います。こういう企画はオンラインではないと聞けなかったと思うので、今年がオンライン開催で良かったと思います。
※	ランチタイムセミナーでは雑談含め、先生方の率直な意見が聞けてとても面白かったです。
※	キャリアパス委員会のランチョンセミナーがとても楽しかった
※	Detail must be available in english to connect with the peers.

質問12. オンライン企業展示会・バイオテクノロジーセミナーについて（要望・その他）

回答者 番号	要望・その他記述
※	シンポジウムやワークショップといったセッション間の時間的余裕がなく、展示会などに参加することができなかった。

質問13. MBSJ2020 Onlineの視聴サイトや、各種マニュアル・リハーサル機会の設定といった事前の対応、当日のトラブル対応など、オンライン年会のサポート体制についてお聞きします <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	タイムテーブルで演題の詳細を確認後、戻るボタンをクリックした際、その日程全体のタイムテーブルの画面に遷移しなかったのは不便だった。演題検索機能に、詳細検索機能(日付選択や演題形式選択)などのソーディング機能をつけて欲
※	毎年分生はとても楽しみな学会なのでオンラインでも開催して下さって面白い話がたくさん聴けて本当に良かったです。ありがとうございます。
※	たまにサイトが落ちる時があるのが非常に問題だと思います。
※	色々なセクションのポスターや要旨を見たいとき、一度戻ると1日目の最初のページになる点が使えづらかった。
※	オンライン要旨システムは少し使いづらかった。タイムテーブルについては3日目を見ていたのに画面を戻ると1日目の画面になっていたりと細かい仕様が使いづらかった。
※	通信上のトラブルは想定されていたと思うが、臨機応変な対応がありスムーズであったと感じました。
※	ポスター演題にも検索機能が欲しかったです。全体の演題数も多く、興味のある発表を網羅的に探すことに時間がかかってしまいました。
※	MBSJ2020のサイトで、検索結果からzoomIDまでたどりつけないのは、不便だった。検索結果画面からセッションやポスターのzoomIDも表示できるようにしてほしい。
※	初日のポスターセッションで奇数/偶数の発表順が前もって発表されていたものと異なり、戸惑いました。どちらが正しいにせよ、訂正のコメントはいただきかったです。
※	視聴サイトのうち、演題の保存機能が非常に使いにくかった。星を付けた演題をタイムテーブル形式で見られるようにしてほしい(セッションごとの表示ではなく、セッション間を行き来することも多いため時系列で表示したい)。また、タイムテーブルから一覧に戻ると、当日のタブに戻ってしまう。演題に目星をつける際にいちいち日付のタブを押すのはものすごく
※	・タイムテーブルからセッションに入った後にタイムテーブルへ戻ると、閲覧していた日付12/3のタイムテーブルではなく、閲覧している日付12/2のタイムテーブルに戻ってしまい面倒だった。・ページ全体の動作が重かった。
※	視聴サイト右上のfacebook表示が邪魔だった
※	2日目以降の発表を検索した際、ページを戻ると1日目の演題に戻ってしまったり、各項目ごとの演題が数個ごとにしか表示されないため全体の演題をオンラインでざっと見て探すことが非常に難しい点に不満を感じた。また、オンラインでは聴講者数が少ない時に発表の途中で説明を抜けることが難しいと感じた。
※	2.に関して、i) 総会でも議論されたが、サイトが上手く表示されなかったり、bookmarkへの登録が反映されなかったりした。ii) ポスターが3個ずつしか表示されなかったのが使いにくかった。iii) Bookmarkや検索結果からポスターを表示できず、ポスターの一覧から探さないといけないのが使いにくかった。
※	視聴サイトにて、お気に入り登録したポスター演題をクリックした際に、そのポスターPDFを見れるようにして頂けると、スムーズにPDFを閲覧できたと感じる。
※	視聴サイトが少し使いづらく感じました。検索の際、興味のあるポスターを見つけたとしてもそのポスターに直接飛べないのは使いづらかったです。zoom!リンク、要旨だけでなく直接そのポスターを見に行けるようにしてほしいと思います。
※	サーバーに繋がりにくいことなどもありましたが、大型のオンライン学会としてとても充実したものでした。
※	・ブックマークの演題一覧やポスターの種別一覧にある「次のページへ」ボタンが分かりづらく、存在に気づいたのは会期3日目の朝だった。
※	ポスター発表開始直後のみ、視聴サイトが繋がりにくい状況であり、聞けるポスターの数が減ってしまった。
※	検索機能を使ってポスター発表を検索すると、発表要旨は閲覧できるがポスターを閲覧できないことに不便を感じた。

質問14. 年会終了後の約1週間、すべての一般演題ポスターデータ閲覧と一部のシンポジウム・ワークショップ講演視聴を可能としたことについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	ポスターデータは会期中だけでいいと思う。普通に怖い。オンデマンドで見られるのはとてもありがたく、オンライン学会の良さだと思った。
※	配信なし・ライブのみの発表が重なった場合、興味があるすべての口演を閲覧できないことは非常に残念である。
※	閲覧できないシンポジウムが多い。もっと増やしてほしい。閲覧しようとしたらアクセスできないものが多々あった。

質問15. MBSJ2020 Online視聴のためのツールのうち、よかったと思うものについてお聞きします <複数回答可>(その他)

回答者番号	その他記述
※	プログラムの閲覧機能ですが、1つでも戻ると最初からまた探さなければいけないのは不便でした。ポスターを会期中に閲覧できるのは、便利で助かりました。口頭発表の方の資料もあとよかったです。
※	企業スペースはSpatial chatを使った方がいいかもしれない。もちろん使い慣れていないと声が聞こえにくい等もあるが、Remoだと机に行くときすぐ担当者が話しかけてくるため困った。
※	全てのツールは、ほとんど最低限の機能のみで使いやすさが皆無であった。
※	・オンライン要旨は非常に使い勝手が悪かったので、従来のアプリと紙の要旨が手元にあるといいと思った。・マイタイムテーブルは1セッションの1演題のみをマークしている場合でもセッション全体がタイムテーブルに表示されるため、複数のセッションにまたがって演題を行き来する計画を立てる上では参考にならなかった。オンラインは会場間の行き来の時間を省略できるため、このような視聴方法をする人もいたと思うので、改善してほしい。
※	特になし。
※	ポスターの流し見がしにくかった。
※	ポスター閲覧ページは一覧性がなく、後ろのページに表示された人ほど表示するまでのクリックが大変で発表を聞きに来る人が少なくなる傾向があったと感じた。

質問16. 今後の年会の開催形式についてお聞きします <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	オンラインの方が様々な発表を聞くことができるため、オンサイトにはない利点があると実感しました。ただ、直接会って話をするのもとても大事であると思うので、ハイブリッド開催を上手いこと調整していただきたいと思います。
※	ワークショップやシンポジウムをオンサイトとオンラインの両方可とし一部をオンデマンド配信にしてほしい。ポスターや企業ブースはオンサイトがいい。
※	完全オンラインだと、場所の制限がなく参加できるためかなり良いと感じました。私は今回は参加のみでしたが、研究との両立も可能であり、参加へのハードルが下がったと感じています。
※	研究室や会社を休まずに参加できることが大変良かったため、来年もオンラインや事後配信を継続していただきたいです。一方で、オンサイトへ出向くことも楽しみの一つですので、ハイブリットでの開催を希望いたします。

質問17. 年会をオンライン開催またはハイブリッド開催(オンラインプログラムとオンサイトプログラムの併用)とする場合、「未発表データを前に議論したいが、発表資料を不正に複写・撮影等されることへの懸念がある」との声が聞かれます。講演の事後配信や一般演題のポスターデータ掲示についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	セキュリティ上でも画面上で写真を撮ったりは可能なので各人の判断に任せるしかないと思います。参加して発表する以上はある程度覚悟を決めた上だと個人的に考えています。
※	録画やスクリーンショットを防ぐ機能はないのでしょうか。
※	発表できる程度にまとまっている内容であれば、bioRxivをはじめ、近年では発信方法はいくつかあると思うので、未発表データに対する対策を講じる必要はあまり無いと考える。未発表データを不正に複写・撮影される懸念は、程度の差こそあれ、オンサイトであってもありうる。不正に複写・撮影されるリスクと、発表することで得られるベネフィットのバランスは、発表者自身の裁量に寄る部分が大きいと考える。

質問18. その他、年会全般についてのご意見があればお書きください

回答者番号	意見記述
※	〇〇〇先生は本当に毎年最高です。生物学への楽しさが全身から溢れていていつもやる気をいただいています…。ぜひ伝えていただきたいです。ポスターに関しては発表者の方が一番大変だったのではないかな、と思います。レスポンスがどうしても感じにくいと思うのでオンサイトよりもやりがいがあるのかなと思います。もしかしら、参加者全員カメラオンとかの方が良いのかもしれませんが。(情報漏洩防止にもなる?(写真撮ったりなどカメラオンだとバレるので))あとは、今年は医療応用、疾患モデル絡みの話が多いように感じました。もっとシンプルにただ生物学しているセッションが溢れている方が私は好きでした。それでも、本当に開催してくださってありがとうございました。来年も楽しみにしております。
※	いちど回答したのですが、追記です。今年アプリが無かったのは何故でしょうか?(あったのに気付いていなかっただけでしたらすみません)ポスターのサイトがかなり見にくかったのでアプリがあったらと思いました。また、今年こそタイムオーバーが多かったので実際のスケジュールとずれているレクチャーが多く、アプリがあればどのセッションでの発表が実際に行われているかわかり、スムーズに各セッションを行き来できたのにな、と思いました。あと、プログラム(発表内容の詳細込み、セッションの概要だけでなく)のPDFを置いてダウンロードできるようにして欲しかったです。結局各発表者の発表内容はサイトだけでしか見れ無かったのです。
※	ワークショップは、興味のある題目のチャンネルを行き来することができたので、効率よく参加することができた一方で、時間が押しすぎているところもあった。
※	学生1000円でありがたかった。
※	初めてのオンライン開催としては、非常に見やすかったと思います。次回もできればオンライン開催が良いです。
※	昨年のオンサイトでも参加していたが、オンサイトの方がメリットがあると感じた。大学院生の立場として、シンポジウム、ワークショップなどはオンラインでもよかったが(ほぼ質問することがないため)、自分のポスター発表は非常にやりづらかった。(途中で入ってきた方への対応がわからず、何もdiscussionすることなく退出されることが多い)また、自分が他のポスター発表を見に行っても、議論中だと入りづらいし、結果的に聞けるポスター発表の数が減ってしまった。質問があるほどではないが少しのぞいてみたい…というような聴き方もづらく、ポスター発表はオンサイトがよいと感じた。
※	せっかくオンラインにするのであれば何人がポスターを閲覧してきたか、数値化してほしい。要旨検索数など
※	パンフレットについて、ポスターの演題が載っていないのが少し残念でした。ネット上で検索はできても、やはり紙媒体で見れたほうが、どれを聴きに行こうか考えやすいと感じました。また、昨年のようにアプリがあればもっと便利だったかなと思います。これらがそろっていれば、今回の参加費が安く感じたかと思います。
※	ポスターセッションにおいて、投稿先ごとのアドレスにとばないと、ポスターにアクセスできないような仕様になっているのが気になった。さまざまな分野のポスターを満遍なく眺められるような工夫が欲しい。
※	今後取り上げてほしいテーマ「論文の執筆や投稿」「フェローシップの取り方」「留学を含む、研究者のキャリア形成」本年も、大変勉強になりました。本学会のような国内最大級の規模の学会では、様々な分野でご活躍しております国内外の研究者の先生方、および各分野の最新の研究成果と出会うことができます。生命科学にとまらない、研究の世界の最先端を垣間見るとは、明日からの研究生活の活性化に繋がります。また、自身の研究分野のトップでご活躍しております先生方のお話を伺えることは、学生の私にとって大変刺激的で、代えがたい機会であります。(Web開催では、スライドが大変見やすく、また質問がしやすい(私のような学生にとって、会場でマイクの前に並ぶことは大変ハードルが高いです)というメリットを感じました。)来年度の年会も、楽しみにしております。コロナ禍という未曾有の事態の中今年も分子生物学会で締め括ることが出来たこと感謝いたします。ありがとうございました。
※	視聴サイトの戻るボタンが使えなかったり、ポスターのところまで一日目に戻ってしまったりするのがややこしかった。でもオンライン一回目なので、様々なトラブルはつきものだとも思っています。
※	年会費については今回の内容であれば適切だと感じた。
※	学部学生の積極的な参加という観点から、500円とはいえども有料は二の足を踏むようである。大学院生以上については適切と考えている。
※	実費での参加なので、移動費宿泊費がなく参加費が1000円だったので、何のためらいもなく参加することができたのは良かった。
※	今回はもう少し安くてもいい気がした。
※	今回は発表せず参加のみでしたが、思ったよりストレスフリーでした。私自身は東京にいるので不便はあまりないですが地方や海外の方はオンラインのほうが参加しやすかったのでは?1日目のポスター発表開始時のみサイトが重かったのですがその後はほとんど滞りなく参加できたと思います。お疲れさまでした。
※	ポスター発表の演題数が多いため、英語記載だと全て読む時間がない。ポスターの表示言語は日本語が良い。
※	学生会員の年会費・参加費は更に減らしてほしい。
※	例年とは違い、急遽オンライン開催を余儀なくされていたと思うので、準備等に費用がかかってしょうがないと考えていたが、その上で例年よりも安く設定されていたので、より安いと感じた。
※	この年会の内容であれば安いと感じた。(学生としての意見です。)
※	この年会の内容であれば高い
※	学生事前会費1000円は低価格で、今回発表は予定していなかったが、参加しやすい価格であった。ポスター発表の検索ツールから、PDFのポスター閲覧へのジャンプが不便だと感じた。
※	All Fair and great experience. Thank you.
※	ポスター発表の際、途中参加が多かった。そこで、今何人zommlに入っているかをみんながcheckできる環境下にしたいほうが質疑応答がsmoothに行えるように感じた。
※	この年会の内容であれば高い
※	ちょうど良いと思います。
※	年会に参加し、発表して本当によかったと思っています。参加費ならちょうどいいくらいだと思います。大会長や運営の皆様どうもお疲れ様でした！いい年会ありがとうございました！来年も参加します！
※	演者へのコメント機能から思わぬ交流があり、これはオンライン開催のメリットであったと思いました。前例のない状況の中、大会開催に尽力していただいた皆様には心より感謝申し上げます。
※	学生会員事前1000円で参加したが、安めでありがたいと感じた。
※	特にございません。